



福岡県から慶祝団来伯される



去る、9月14日、アマゾン日本人移民80周年記念式典に 母県福岡より海老井悦子副知事を団長に、井本邦彦県議会副議長、福島明彦国際交流センター事務局長、武田誠一国際交流局課長、千代丸広志県議会事務局総務部主任主事、西鉄旅行社から添乗員の金堀博雄さんの6人がサンパウロ空港に到着されました。

「当日は、珍しく飛行機の方が20分も早く到着し、出迎えの方が遅れるのでは？」と少しあわてましたが、何とか間に合い、ほっとした一面もありました。

副知事の希望が移民資料館を視察したいという事であった為、通常、移民資料館は月曜日は定休日のところを、ブラジル福岡県人会の特別な計らいで、日本からのお客様という事もあり、館長みずから御案内を買ってくれました。

その晩は県人会主催の歓迎会が会員有志40人近く集まり、リベルダーデの中華飯店でなごやかに行われた。

丸林 茂樹



2009年度留学生の中間レポート

■七月十日は日本語のコースの最後の授業でした。ビクターセッションの日でした。日本人の大学生と話す機会がありました。布施先生は飲み放題の場所を調べてくれて、授業の後は学生たちと一緒にその飲み放題に行きました。布施先生と家根橋先生、日本語を教えてくれて、ありがとうございました。

七月には友達が中国料理を作ってくれて一緒に夜ご飯を食べました。その料理は少し辛いけどとても美味しかったです。

■7月20日は、海の日でした。この日には初めてヨット遊びに行きました。

このヨットは広くて部屋も3室、リビングルーム、お手洗い、家みたいに住んでもいいと思っていたら、このヨットで世界中走ってもいいと教えてくれました。

少しヨットを操縦しながら、顔に風が吹いて、海を見ながらとてもいい気持ちでした。海に泳ぐこともできて、バーベキューを食べてとても楽しかったです。

帰っていく時は風が強かったのであっという間にヨットハーバーに着きました。でも美しい風景は海からヤフードーム、福岡タワー、マリノアシティを見ることでした。

それから、おいしいお寿司を食べにつれてもらいました。留学生としてこんなに素晴らしい経験をすごして幸せです。

■八月はすごく暑くなりました！寝る時にエアコンを点けなかったら、寝るのはちょっと難しかった。日本の夏の湿度はすごく高くてすぐ疲れと思います。水をたくさん飲まなきゃいけない。私は夏風邪をひいたけどいつもエアコンを使ったから、直るの難しかった。

八月に色々な花火大会がありました！私は大濠公園と久留米の花火大会へ行きました！両方は1時間半だったからすごかった！初めてそんなに長い時間を見ました。大濠公園の花火大会はすごく美しいだった。福岡の町の中だから、色々な形が出たけど、久留米の花火大会に比べたら、大きくないと思います。初めてスマイルやハートと桜の花火を見た！久留米の花火は大きくてすごかった！

日本人の友達のお祖母ちゃんは着物の先生だから浴衣がたくさん持っているので私とあと韓国から来たジェウンちゃんに貸してくれました。二人は超嬉しくなった！

たくさん友達ができたけど八月になって、皆は自分の国に帰りましたので、最近ちょっと寂しいです。



最後の授業中 Bolsista: Silvia Lumy Akioka



ヨットの中 Bolsista: Iracy Mariko Eishima



留学生たち Bolsista: Ana Carolina Towata

■日本に来てから5ヶ月経ちました。夏休みが始まると予定がありました。8月1日に北九州でわっしょい百万夏祭りに行って、8月2日に先祖の親戚を知り合いになるために真理子ちゃんと一緒に家族会の平田さんの内に行きました。平田さんは親戚の内に連れてくれて、おばあさんのいとこの妻に会いました。その奥さんは先祖の写真を見せてくれて、昔のことについて話しました。わたしは祖父母が住んでいた地方を見ると、戦争のころについて考えて、おばあさんの少年時代に想像するようになると涙が零れました。8月5日に家族会と一緒に久留米で花火大会を見に行きました。次の日は東京へ旅行しました。あそこで、渋谷や東京タワーや新宿やディズニーランドなどのところへ散歩に行きました。



初めまして、わたしはブラジルから来た親戚です。

Bolsista: Elis Naomi Hirata

■皆さんこんにちは！夏の季節に完全に入りとても暑苦しい日々がよって来ましたね。最初は、私は毎日セミの鳴き声で起こされていたが今は何だか慣れてきてもうそんなに気にしなくなりまして。いくらうるさいセミの鳴き声でも慣れたら慣れるものだね。7月は皆さん、ご覧の通り海外福岡県子弟招へい事業でした。短い間でしたが子供達やリーダー達と過ごした時間は、最高でした。もちろん、その間とても疲れたときもあったし、子供をしかる必要もあったけど彼らと遊べた瞬間はなによりも楽しかったです。私は本当に子供達にこの経験を活かした事をいい思い出として残って欲しいと何よりも望んでいます。そして、私のことを大きくなって覚えてくれてくれたら最高にうれしいなー！！参加した皆さんに対して私は本当に深い絆が作れたと思います。この事業に参加できた事はほんとうに国際交流センターの皆さんに感謝しています。



グループF (ハワイ、ロスアンジェリス) 最高のチームでした！

Bolsista: Viviam Tiaki Minami

福岡県子弟招聘事業参加レポート

■7月に福岡県の子弟招へいで参加する好機がありました。色々な国の県人会の人と交流できました。新しい友達をできました！アメリカやペールやポリビアに行きたくなった！

福岡県で一人で行けない所へ行く機会がありました。とても面白かった！初めて日本の小学校へ行きました。全部小っちゃい！子供たちの中で母語だけ話す子が多かったけど子供たちはすごく早く仲良くなった。子供たちのエネルギーは多い！何でもできるのでビックリ！



アメリカから来た女の子

ブラジルの県人会の友達も会いました！！

皆日本の文化を覚えましたので福岡のことの興味が大きくなりましたと思います。

毎日ご飯を一緒に食べて、色々な話して、すごく仲良くしたので皆が帰った後は寂しくなった。

第 80 回定期総会開催のお知らせ

当県人会第 80 回定期総会が下記の要領で行われます。

会員の皆様方は是非ともご出席くださいますようご通知とご案内を致します。

記

日時 2010年 2月7日(日)

第1次召集 午前 9時30分

第2次召集 午前10時00分

場所 大阪なにわ会 会館

Rua Domingos de Moraes, 1581 São Paulo-SP. (地下鉄 ピラ マリアナ駅近く)

- 議題) 1) 2009 年度の事業報告、並びに会計報告
2) 2010 年度の事業計画、及び予算案
3) 役員改選
4) その他

尚、総会終了後、新年親睦会が催されます。

お悔やみ通知

この度 左記の会員または家族の訃報を受け取りました。他界された方のご冥福をお祈り致しますと共に、会員の皆様方に謹んでご通知申し上げます。

アクリマソン支部

故 篠崎 イチ様 八十六才

二〇〇九年十月七日歿

故 田中 ミドリ様 八十八才

二〇〇九年五月歿

故 田中 岩雄様 九十二才

二〇〇九年十一月十三日歿

シダーデ アデマール支部

故 前田 スミエ様 九十六才

二〇〇九年十一月十四日歿

パウルー支部

故 本田 琴様 才

二〇〇九年九月歿

ジャカレジーニョ支部

故 井上 文子様 九十九才

二〇〇九年十月十九日歿

カンピーナス支部

故 平田 清吾様 九十三歳

二〇〇九年六月二十二日没

NOTA DE FALECIMENTO

Recebemos de seus familiares, comunicado de falecimento dos associados abaixo relacionados:

Sra. Ichi Shinazaki Regional de Aclimação, aos 86 anos, em 07/10/2009

Sra. Midori Tanaka Regional de Aclimação, aos 88 anos, em 18/05/2009

Sr. Iwao Tanaka Regional de Aclimação, aos 92 anos, em 13/11/2009

Sra. Sumie Maeda Regional de Cidade Ademar, aos 96 anos, em 14/11/2009

Sra. Koto Honda Regional de Bauru, aos anos, em 06/07/2009

Sra. Fumiko Inoue Regional de Jacarezinho, aos 99 anos, em 19/10/2009

Sr. Seigo Hirata Regional de Campinas, aos 93 anos, em 22/06/2009

福岡県人移住 100 周年、県人会創立 80 周年記念式典 並びに 第 7 回海外福岡県人会世界大会開催 募金趣意書

会員各位 様

来る 2010 年、ブラジル福岡県人会は「県人移住 100 周年」、「県人会創立 80 周年」を迎えます。さらに、この度は「第 7 回海外福岡県人会世界大会」も同時に当地で開催されます。

私達県人会は、これらの慶事を祝し、記念式典を催すことになりました。

顧みますれば、福岡県人移住の歴史は 1910 年 6 月 28 日、日本よりの第 2 回移民 912 名を乗せた「旅順丸」に最初の福岡県出身 21 家族 79 名がサントス港に上陸した時から始まっております。

以来、今日まで約一萬家族、三万人が渡伯しております。

また、ブラジル福岡県人会は 1930 年 6 月、パウルー市において 11 人の発起人によって創立された「福岡県海外協会ブラジル支部」に端を発し、翌年「在伯福岡県人会」と改称され、1964 年にはブラジル連邦国民法に基づき正式登録、更に 1994 年に「ブラジル福岡県人会」と改め現在に至っております。

移民初期より延々と続いた先輩移民の想像を絶する汗と涙の苦闘の歴史の上に築かれた日系コロニアは昨年のブラジル移民 100 周年祭を世界中が注目する中、成功裡にやりとげました。

これは我々日本人移民の子孫がブラジル社会のあらゆる分野で協和しながら活躍し、ブラジル国に同和している証として世界のマスコミに紹介されました。

この度、先輩移民が 80 年を懸けて育て上げた我等福岡県人会も今日運営を担う二世、三世を主体とした新世代の者が継続して発展させる足掛かりとして、この記念式典を開催する事は良い節目でもあり、誠に意義深いものがあるとおもいます。

祭典には、同時開催の世界大会参加者を含め、母県からも県知事をはじめ 100 名にのぼる大型慶祝団の来伯が予定されており、またブラジル側においては サンパウロ州知事、サンパウロ市長、日本国サンパウロ総領事をはじめ多数のブラジル政界、各日系団体代表の方々の御出席を賜る予定になっており、当県人会にとって誠に栄えある輝かしい祭典になるものと確信しております。

尚、これを機に私達福岡県人の初期の先輩移民から現在の若い世代に至るまでの県人 100 年の足跡を記録し、次の世代に伝えるための「記念誌」を発刊させていただく予定になっております。

然しながら、祭典を挙げるには それ相当の経費を要します。それには会員皆様方の絶大なる御援助、御協力を仰がなければなりません。皆様の郷土を思うお心、そして熱意と暖かい御支援によって名実ともに立派な祝典を挙行致したいと存じます。

どうか何卒よろしく御高配賜りますようお願い申し上げます。

2009年 8月 吉日

ブラジル福岡県人会

会長 南 アゴスチーニョ 俊男